

## 宗谷支部の活動状況

1 研究大会等名称 令和7年度宗谷管内高等学校教育研究会教育相談部会研究協議会

2 事務局校 北海道利尻高等学校

3 実施日時 令和7年10月27日(月) 13時00分～16時30分

4 実施場所 北海道稚内高等学校 会議室(稚内市栄1丁目4-1)

5 参加人数 11名

6 実施内容

(1) 講演

講師 北海道立教育研究所人材育成部研究研修主事 増田 功 様  
演題「生徒指導に係る諸課題～不登校生徒の支援を中心に～」

《要旨》

全国的に不登校の児童生徒は増加傾向にある。北海道の国公私立高等学校における不登校生徒数は全国平均を下回っているものの、中途退学者数は全国平均を上回っている。これを受けて道教委は、不登校により学びや支援にアクセスできない子どもをゼロにするという目的の下、「HOKKAIDO 不登校対策プラン」を策定し、①学校風土の改善、②チームによる支援、③学びの保障の3本柱を中心に、すべての児童生徒が安心して学べる環境づくりを進めている。

教育相談は生徒指導の一環として位置付けられ、個に焦点を当てた柔軟な支援が求められる。発達支持的・課題予防的・困難課題対応的の3つの視点から、学校全体で支援にあたる体制づくりが重要である。「不登校支援ガイドブック」等を参考に、学校の状況に応じた体制を整えることが望ましい。

また、生徒が「助けて」と言える力を育むためのSOSの出し方教育や、自殺予防教育も大切である。援助要請スキル「たすけて」や支援スキル「まかせて」、TALK原則(Tell・Ask・Listen・Keep safe)など、演習を交えながら具体的な手立てを紹介した。日常的な関わりの中で生徒の小さな変化を見逃さない姿勢が大切である。

不登校や悩みを抱える生徒への支援は、特定の教職員に任せのではなく、学校全体で取り組む課題であることを再確認した。日常の教育活動を「発達支持的教育相談」として捉え、生徒が安心して相談できる環境づくりとチーム支援の充実を図っていきたい。

(2) 研究発表

発表者 北海道浜頓別高等学校 柳 夏 鈴 養護教諭  
演題「特別な配慮を必要とする生徒への個別支援の実践」

《要旨》

本校は浜頓別・中頓別・猿払の3町村から生徒が集う1学年1学級の小規模校で、教職員が連携しながら教育相談体制を整えている。養護教諭が窓口となり、スクールカウンセラーや関係教員との情報共有を行い、生徒支援委員会やケース会議を通して支援を進めている。今回は知的障害と視覚障害を併せもつ生徒への個別支援を事例に、合理的配慮の具体的な提供と合意形成の過程を示した。本人・保護者との対話を重ね、放課後講習の活用や課題量・提出期限の調整、拡大印刷等を教職員間で共有し支援した。個別の教育支援計画を作成し、本人の意思を尊重しながら丁寧な支援を継続した結果、自ら相談やICT機器を活用する姿勢が見られるようになった。

今後は特別支援コーディネーターとしての専門性を高め、関係機関と連携し、学びのユニバーサルデザイン化を推進していくことが課題である。

(3) 研究協議

1 教育相談に係る課題についての検討・グループ交流

(1) 配慮が必要な生徒への支援

(2) 外部機関との連携（教育・医療・福祉・労働等）

(3) 校内教職員の共通理解

2 助言

助言者 北海道立教育研究所人材育成部 研究研修主事 増田 功 様

《要旨》

研究発表において合意形成が円滑に行われた事例が紹介され、成果や課題に至るまでの過程が丁寧に説明されており、非常に意義深い内容であった。

アセスメントツールは大変有効なものであるが、結果を教職員に渡すだけでは十分に活用されないことが多い。例えば、生成AIなどを用いて分析を行い、結果を端的にまとめて学校の風土が可視化できる形で共有することで、より効果的に活用することができるのではないか。

また、これまでの経験から、特別指導が行われた際にアセスメント結果を確認すると、非常によく当たっている実感がある。課題対応的な支援を行う際には、アセスメント結果を1つの判断材料として活用していただきたい。ただし、アセスメントツールには費用を要するものもあり、その点は北海道としても今後の課題である。

校内での組織的な対応については、診断書の有無にかかわらず、困り感のある生徒については支援会議で名前を挙げ、可能な支援を検討していただきたい。

さらに、宗谷管内の学校については、校内の見通しがよく、教職員間で学年を超えて生徒情報を共有するなど、非常に進んだ教育活動が展開されている。今後も各校の実情に合わせて、不登校支援ガイドブック等を活用し、よりよい教育活動につなげていただきたい。

7 その他

8 次年度の支部事務局校

北海道稚内高等学校（全日制）